

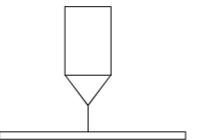
minamo

—エポキシ樹脂の注型を用いた積層表現—

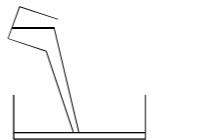


制作工程

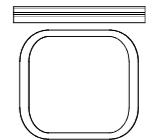
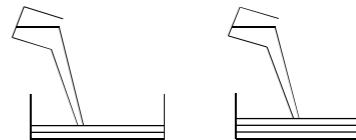
レーザー加工



流し込み



組み立て

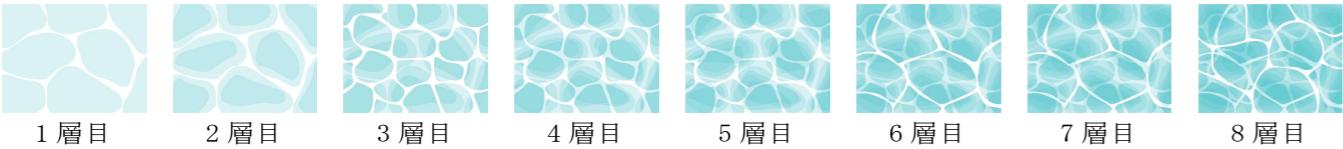


背景・目的

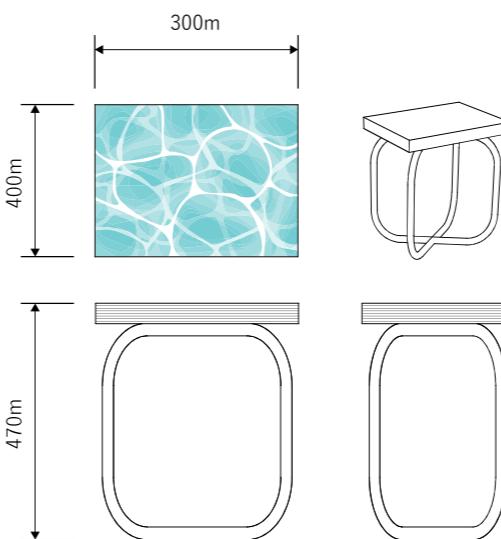
エポキシ樹脂は手軽に入手が可能になったことから、アート作品だけでなくハンドクラフトでも使用される。その際、注型する天板の加工には切削が多く用いられている。本制作では積層表現に注目し、エポキシ樹脂とアクリル板を組み合わせたテーブルを提案する。

デザイン

透明のアクリル板と白色のアクリル板を交互に重ねることで、積層表現の特徴を活かしている。



三面図



使用した材料

【天板】

- 1、2層目：透明のアクリル板 ($t=5\text{mm}$)
- 3層目：白色のアクリル板 ($t=2\text{mm}$)
- 4、5層目：透明のアクリル板 ($t=5\text{mm}$)
- 6層目：白色のアクリル板 ($t=2\text{mm}$)
- 7層目：透明のアクリル板 ($t=5\text{mm}$)
- 8層目：白色のアクリル板 ($t=2\text{mm}$)

【脚】

- ステンレス管 ($\phi 25$)
針葉樹合板 (15mm厚)

【樹脂】

- スーパークリアエポキシレジン
レジン用着色剤
(ブルー、アクアブルー、
ターコイズ、ライムグリーン)